

花の苑タイムズ

民生委員等が来苑(施設見学)

新高尾地区民見協十五名

新高尾地区民生委員・児童委員協議会(吉新百合子会長)の皆様が五月十七日、高崎花の苑の施設見学に訪れました。

同協議会では、五月十二日からスタートした強化月間の行事として、新高尾小学校「朝のあいさつ運動」とともに地区内高齢者介護施設見学を計画、実施したものです。



この日の見学には、各地区の民生委員・児童委員全員の十五名が出席され、施設の規模や地域密着型の特徴など職員の説明に熱心に耳を傾けておられました。

なお、今年は民生委員制度が開始し百年の節目の年にあたり、県内では十月に前橋グリーンロードで記念行事が行われる予定となっています。

「やるベンチャー」

平成二十九年度の高崎市「やるベンチャーウィーク」がこのほど実施され、地元中尾中学校二年生の生徒五名が五月二十二日から二十六日までの五日間、高崎花の苑で職場体験を行いました。

参加した生徒は「将来



人と接する仕事をしてみたい」「母が介護士で働いているので仕事の内容を知りたい」「老人介護施設の事はどんな感じなのか知りたい」などと職場体験の希望動機を述べていました。

実施後の生徒の感想は次号で紹介いたします。



平成29年 6月10日発行
第33号

〒370-0002
高崎市日高町433-1
TEL:027-329-7211

社会福祉法人健生会
特別養護老人ホーム
高崎花の苑広報委員会

新年度第一回運営推進会議開く

新年度第一回運営推進会議がこのほど開かれ、平成二十九年度高崎花の苑事業計画(案)などが審議されました。

会議ではこのほか、推

進委員の交代に伴う自己紹介、地域交流等の活動報告のほか三号館開設に伴う稼働状況と今後の課題などが話し合われました。

「五月度」交流イベント開催

新緑がまぶしい五月度の苑内交流イベントは、地域で活躍する六組のボランティアグループが来苑され、日頃磨き上げた芸能を披露する一方、それぞれの演奏や演技の合間での会話を通じて、ご利用者との一体感を生み出す賑やかな交流イベントの開催となりました。

その他、南京玉すだれと健康体操でいつも皆さんを明るく元気にさせてくれる「笑話会」。そして七人のメンバーで篠笛の演奏を披露した「しの笛吹こう会」に加え、「たかばやし民謡教室」では声高らかに馴染みの民謡を歌いあげました。

見事な演奏を披露

「ほほえみ会」は今回三号館単独の開催で、いつもの新舞踊の他、八木節やコミカルな安来節の踊りで利用者様をわかせる「船尾会」は三味線と尺八などの和楽器で踊りを交えて本格的な民謡を披露。「高崎アコーディオ



「楽しい体操の時間」

昼食前の空き時間やおやつ後の午後のひとときを利用して、A・ショートユニットでは、以前より体操を行っています。利用者様から「ねえ、体操しようよ」と声が掛かることもあれば、職員の方から「体操しましょう！」と働きかけることもありま



時間も決まっていなくて、その日の利用者様の様子を見ながら、無理のない範囲で「体操の時間」を設けています。先日も「リハビリ体操」やうめぼし体操などCDに合わせて数分間の簡単な体操を行いました。体を動かせる範囲などは



利用者様によって様々ですが、皆さんご自分のできる動きで楽しんで体操をしていました。何より、音楽に合わせて体を動かすことで、皆さんの表情がいきいきとしてくるのを見て、体操をするので心にも体にも良い影響をもたらしているのだと改めて思いました。

身体機能の向上と、精神的な面での健康維持を目指して、これからも体操の時間を皆さんと大いに楽しんでいきたいと思

います。(Aユニット・ショートステイ S)

「縫い物の協力」

Fユニットの高橋在枝様は和裁がとて上手な方で、日頃、利用者様の衣服のボタン付けや、名



前縫いの他、雑巾や台布巾づくりのお手伝いをして頂いています。なかでも雑巾づくりに関しては、E・Fユニット使用の雑巾はすべて高橋様の手縫いによるものとあつて、ユニット職員一同いつも感謝して使用しております。

高橋様はお若い頃、忙しい専業農家の仕事をす

る傍ら、お子さんたちの着物づくりにいそしんでおられたとのこと。和裁も洋裁もこなし、時には布を一反買ってきては、家族のために衣服を作ったそうです。

とても器用な手つきです。いと縫い物をされる高橋様を見ていると、お若い頃にさまざまな苦労と経験を積み重ねてこられた歴史が偲ばれ、尊敬の念を禁じ得ません。(E・Fユニット S)

地域交流作品展

現在展示しているのは新高尾公民館はがき絵の会による「かまめしの蓋に描いた作品展」。群馬県の名物「峠の釜めし」の容器の蓋に直接、風景や動物などを描いたものです。



季節折々の歌

- (ショートステイ 須永 清様)
- 春の風 一夜で散らす 八重桜 くぼ地に集め 花のじゅうたん
- 田植え前 友三人と 日帰り湯 いつか話は 雨乞えの歌
- 梅雨晴れ間 裏の電線 少し揺れ 二羽の鳥は 仲良しこよし (秀峰)

すこやか生活日誌

皆さん、「食育(しよくいく)」という言葉をご存知ですか？毎年6月は食育月間です。関連するイベントも各地で行われています。

食育とは食に関する知識等を身に付け、健全な食生活を実践できる人を育てることです。食生活や食の安全、食文化の継承などさまざまな食に関する問題に取り組んでいくための考え方です。ちよつと難しく聞こえるかもしれませんが、私たちの生活に身近なこともたくさんあります。

例えば、買い物をするときにより良い食品を選ぶこと、野菜がどのように栽培されているか知ること、食事のマナーについて学ぶことなど、これらも食育の一つです。簡単なことから取り組んでみてはいかがでしょう。か(管 理栄養士)



編集後記

★若葉青葉のまぶしい季節ですね。思い思いに葉をのぼしている我が家の生垣。愛でるよりも手入りに苦戦する、休日です(S) ★季節の変わり目で周囲に体調を崩す人が目立ちます。皆様健康にご留意を(N) ★気が付けば、あつと言う間に半年が過ぎ去りました。残り半年も充実した日々を思っています。(S)

★SHANKというバンドのCDを買い、車の中も家の中も常にロックに満たされています(K) ★五月でも真夏のような日々。利用者様も私も脱水中に留意し、いざ水補給！(T) ★高崎花の苑はフェイスタックを始めました。担当職員と協力し、慣れないSNSと向き合っています。興味ある方はぜひご覧ください(S) ★五月もボランティアの皆様のご協力で、賑やかに交流イベントを開催することが出来ました。ボランティアの皆様

に深く感謝します(N)